



ぼくらのうみがやってきた！

8月も後半に差し掛かるも、猛暑が体に堪えますね……。みなさんも体調管理には気をつけてください。

さて、遅くなりましたが先月7月15日（海の日）に行ったイベントの報告をしようと思います。しかし残念ながら、色んな理由でイベント中の写真を撮るのをすっかり忘れてしまいました。すみません。ブログでは文字ばっかかもしれませんが、とっておきの〇〇があるので、楽しみにしてください！

ぼくらのうみがやってきた！

今回で第2回目となる本企画！海の日なんだからもちろんテーマは「うみ」！海の生き物を観察するイベントでございます。



前回は酷暑もあり、数人の来園者の方達とわいわいアットホームにやっていました。

前回のブログ→ <https://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/blog/staff/900/p070087.html>

とこんな感じで、海好き飼育員が身近な自然に触れてほしいという思いのもと、「みんなの笑顔のために」密かにフルパワーで行う企画です。

新指令！

この企画ではじっくりと生き物を観察してもらうために、指令を用意しています。

今年の指令は・・・

- (1)箱メガネを作成し、水中を観察せよ
- (2)ヤドカリを2種類みつける
- (3) 5種類以上生き物をつかまえろ



(指令書。隊長とは僕ら飼育員のことです)

(1)は今回初登場！みなさん箱メガネは知っていますか？アウトドアショップ等で販売していますが、これを使うと水中がとってもよく見えるようになり、生き物をよりしっかりみることができるようです。海や川遊びにはもってこいの1品です。



(市販の箱メガネと手作り箱メガネ)

今回はお家にあるもので簡単に作れる箱メガネを実際に作ってみて、さらにそれで観察にしてみようという指令を準備しました！

自分で作ったアイテムで生き物がよく見れたら嬉しさ倍増なはず！んーみんなの笑顔が目に見えちゃう・・・さてこの企画吉と出るか凶とでるか・・・

さて、当日

前回同様、夜な夜なせっせと準備をして、さあイベント当日だ！

んーとっても涼しい！前回とは大違いの過ごしやすい海の日だ！いっぱいお客さんくるといいな～

- ・
- ・
- ・

どーん！

涼しさもあり開店前からとっても多くのお客さんが並んでいるではありませんか！！

前回のイベントの良い口コミが広がったのか（笑）

嬉しい限りです！

さてここからが問題でした。小さなテントの中には人だらけ。スタッフもテンヤワンヤでごっちゃごちゃ。人込みは人を呼び・・・箱メガネ作りは大渋滞・・・というわけで写真が撮れなかったのでございます（言い訳(1)）。



来てくださった方には不便をおかけしました。

が、子供たちはなんのその。今回も全力で手作りの海を楽しんでくれました！



スタッフ2馬力では小さな海しか持ってくることはできませんでしたが、目の前には広大な海が広がっているので、今回あまり参加できなかった方、物足りなかった方はぜひ実際の海へ遊びにいらしてみてくださいね！

さいごに

生き物の観察はちょっとしたコツさえつかめば、簡単に楽しむことができます。本企画でも色々お伝えできたかなと思いますが、現在どうぶつ資料館では「身近な生き物展」を行っており、その中の海コーナーでも掲示物や動画でいろんなテクニックを公開中です！



(身近な生き物展は8/31まで！)

そしてなんと！最近動画編集にはまっている僕は、今回のイベントの様子をショートムービーにまとめてみちゃいました！動画を撮るのに夢中で写真が撮れなかったのが言い訳(2)です。以前動物園のSNSにアップしたので、写真がない分は動画でお楽しみください！

ツイッター→ https://twitter.com/HitachiCity_Zoo/status/1152103796681498625

フェイスブック→

<https://www.facebook.com/kaminezoo/videos/894039867627935/>

(別のリンクに飛びます。音も出ます。)

イベントに参加して下さったみなさま、ありがとうございました！次回はいったいどうなるかな～

どうぶつ資料館にある「ぼくらのうみ」もよろしくです！

(動物園のユーチューバー ヒノキン)

2019年8月17日

動物たちのお願い(後編)！

前回に続いて七イベントのご紹介です！

雨で延期が続いていたのが、晴れが続く今となっては嘘みたいに思えます。

前編はコチラ (<https://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/blog/staff/900/p078378.html>)

ライオンも空を飛んでみたい！？編

ライオンは普段は眠ってばかりいますが、それは体力温存のためです。そう！彼らは百獣の王！狩りのときは素晴らしい身体能力で獲物をしとめます。キリンやバッファローなど大型の動物には集団で飛びかかって倒します。しかし、動物園では切り身のお肉を与えているため、なかなか飛びかかるといったことをさせてあげられません。そこで、今回ライオンに大ジャンプをしてもらおうと思います！その成果はいかに！？



<久しぶりの晴天で大賑わい！>

ジャンプの仕掛けは単純です！お肉をダンボールに入れて展示場の上からぶら下げます！



<このニワトリを>



<この箱にいれます>



<上からぶら下げると>



<大・・・？ ジャンプ！>

見事に大ジャンプ？でお肉を手に入れることが出来ました！普段は見る事ができないライオンのジャンプに皆様から歓声があがりました！

動物園ではライオンに限らず狩りをするハンター達が運動不足や退屈にならないようにエサのあげ方を工夫しています。生きた餌をあげられない以上、箱に入れて取りづらくしたり、エサを隠したりなど日々試行錯誤です。



<苦勞して手に入れた肉は美味しいかな？>

チンパンジーのボールプール編

最後はチンパンジーに大量のカラーボールをプレゼントしました！ボールの中にはチンパンジーの大好物である、ナッツやフルーツなどが隠してあります。賢いチンパンジーたちは大量のボールにどんな反応をしたのでしょうか。ただ、展示場が広いのでプールとまではいきませんが、ダンボールに入れたり、ばら撒いたり1000個ほどのボールをプレゼントしました。

自然界にはボールが落ちていることはまずありませんが、チンパンジーは木の実をほじって中身を出したり、朽木から幼虫を捕まえたりと器用な手先を使ってエサを手に入れます。また、好奇心が強い彼らを満足させるためには日々様々な刺激を与えられるようにエサを隠したり、遊具を与えています。この日は退屈することなく、部屋に帰るまでボールに夢中になっていました。



<ダンボールは自分のものだ主張>



<大量のボールに囲まれたり>



<全員いきわたりました>

チンパンジーの社会ではエサや遊び道具などを強いものが独占するのではなく、最初に手にしたものが独占できることになっています。たまにルール違反が起こりますが、群れのリーダーに叱られます。そうやってサルの中でも高度な社会を築いてきました。

今回は「動物達の願い事」ということで、3つの願いを叶えましたが、叶わなかった願いもたくさんありました。私たち飼育員は話が出来ない動物たちがどうしたら心身ともに健康に過ごせるのかを考えながら毎日向き合っています。こういった大掛かりな仕掛けももちろんですが、日々の小さな工夫も大切です。そんな私たちが行っている小さな工夫を探してみるのも動物園の楽しみ方の一つかもしれません。



さて、来年の七夕はどんなイベントになるのか……。お楽しみに！

2019年8月12日

厄介者と救世主

この季節に動物園を悩ませているのが雑草です。その中でも蔓を張る植物は特に厄介で、「ヤブカラシ」と「クズ」には非常に頭を悩まされてきました。



ヤブカラシ（ブドウ科ヤブカラシ属） 藪を枯らしてしまうほどの繁茂力からその名がついた。



クズ（マメ科クズ属） 葛餅や漢方薬として馴染みのある植物。その繁茂力は旺盛で国際自然保護連合（IUCN）が定めた世界の侵略的外来種ワースト100に入る。



<カピバラのフェンス>



<ヤマアラシのフェンス>

<厄介ポイント>

その1 刈るのが大変

蔓がフェンスなどに絡まっているので除草作業は下草よりも大変です。

その2 成長がめちゃくちゃ早い

刈っても刈っても恐ろしいスピードで生えてきます。

その3 動物の脱走原因にも

蔓はお互いに絡まりながら丈夫なロープになります。

その4 美味しくない

シカやカピバラなど草食動物が食べてくれないので伸び放題になります。

その5 ハチの住処に

ヤマアラシの花にハチが蜜を取りにきたり、葉に巣を作ったり、さらにはそれを狙ってスズメバチが飛んできます。

そんな厄介者に頭を悩ませている中、救世主が現れました！その正体は昨年オープンしたはちゅうるい館に集結した「リクガメ」たちです！



ケヅメリクガメ



アルダブラゾウガメ

これがもう気持ち良いくらい食べる食べる！毎日数キロもあるヤブカラシとクズをぺろりとたいらげてしまいます！これまでは小松菜や青梗菜、キャベツなどを与えていましたが、むしろ雑草への食いつきの方がいいです！これによって、エサとして毎日刈るので園内もきれいに保つことができます。もちろんエサ代の節約にもなりますし、処分の手間もなくなりました！！ありがとうリクガメ！！君達は救世主だ！！



<収穫完了！>

実はアルダブラゾウガメは来園してから環境の変化から体調を崩してしまいました。もともと、ゾウガメは野生下でも環境が合わないと言われていると体の活動を抑えて1年くらいは断食できると言われていましたが、数ヶ月も排便がなくエサもあまり食べていなかったのがさすがに心配にしていました。もちろん気温が上がってきたことありますが、雑草をあげるようになってからは食欲が一気に回復し、数ヶ月ぶりに排便したかと思うと、今では毎日数回は出るようになりました。ゾウガメにとっては厄介者の雑草がむしろ救世主になりました。



<一心不乱に食べるゾウガメ>

ところで、最近TVやネットで「厄介な生物」「危険な生物」「迷惑な生き物」などを取り扱っているものをよく見かけます。その番組の中では、カミツキガメやアライグマなどの外来

生物がクローズアップされ、退治すべし、駆除すべしといった具合に、いかにも悪者といった論調で語られます。でも厄介な存在になってしまった原因や今後そういった厄介者を作らないようにするためにどうしたらいいかといったことはあまり語られません。ましてや、彼らの生物としての面白さや魅力なんてものは伝わってきません。展示場の前で皆さまの会話に耳を傾けても、「カミツキガメだ！凶暴なんだよねこいつ！？」「アライグマってやばい外来種なんでしょ」「ハクビシンって畑を荒らす厄介者なんだよね」などなど。だからこそ、動物園は厄介者としても、その理由も、生物としての魅力も伝えていきたいと思えます！！だって、動物に罪はありませんから。



<迫力満点のカミツキガメ>

少し立ち止まって考えると、厄介者とは全部私たち人間にとってという前置きがつきます。人間にとって厄介で、人間にとって危険なのです。最近、海外で放射線と細菌を使って蚊を根絶する方法が開発されているというニュースを見かけました。蚊は刺されると不快である上に、深刻な病気を媒介するので根絶するそうです・・・。

なんてだいぶ横道に逸れてしまいましたが、色々思うことがあってあえて厄介者という言葉を使ってブログを書きました。厄介者を生み出すのも人間、厄介だから駆除するのも人間、駆除して自然を守ろうとするのも人間、それぞれに立場があり、考えがあります。動物園は答えを提示する場所ではなく、皆さん自身が考え、行動するためのきっかけを作ったり、材料を提供しているに過ぎません。どういう地球、どういう世界、どういう社会になってほしいですか。

雑草にいるカメムシの臭いが一番厄介 中本

2019年8月7日

動物たちのお願い！

今年も「どうぶつえん七夕祭り」を行いました。ところがどっこい、雨雨雨雨飴雨雨・・・。困った事にずーっと雨。天気には振り回されながらも大いに盛り上がったイベントをご報告します！

ここ何年かは皆様から動物園で叶えてみたい願い事を募集し、実際に叶えるという企画を行っていましたが、今年は趣を変えて「動物たちの願いを叶えよう」ということで、動物たちの願いを叶えることになりました！ただし、動物たちが自分でお願いを言うことはできないので、担当者が動物の代弁者となって願い事を考えました！

集まった願い事は10個！その中から皆様に投票していただき最終的に3つの願い事を叶えることになりました！

お魚踊り食い編

これは複数の飼育員の合作で、自然界で魚を捕まえて食べている動物たちに生きた魚をプレゼントしようという願い事です！

動物園ではふところ事情と防疫上の理由で生きた魚は滅多にあげることがありませんしあげても少量です。

そこで今回は特大ドジョウ2キロを用意しました！来て見てビックリの20cmの極太ドジョウ！



ドジョウを与える動物は、アライグマ、カメ、コツメカワウソ、ウミウです。

アライグマ！



アライグマは雑食性で自然界では水辺の生き物が大好きで魚も大好物の一つです。そのつかまえ方が特徴的で、器用な前あしを水の中に入れ、岩や泥、水草のすき間に隠れている生き物を触った感覚だけで探し当てます。今回の土壌、あ、ドジョウも顔を水に付けることなく、前あしで器用につかまえていました！まさにマジックハンド！

生きている魚に大興奮のアライグマたちでした！



<アライグマはうんたらかんたら>

カメ！

はちゅうるい館にいる魚を食べるカメたちにドジョウをあげました。水辺に生息しているカメのほとんどが、肉食性が強い雑食性で、魚や甲殻類、貝類などが大好物です。泳いで追いかけて、待ち伏せしたりと捕まえ方もそれぞれです。

が、薄々予想はしていたのですが、カメたちの反応が悪いこと悪いこと。ほとんどがカメも生まれてから生きた魚など食べたことがなければ見たこともないメンバーだったので、そもそもエサだという認識がありませんでした。唯一フラミンゴ池から移籍してきたアカミミガメが池にいたころ魚を追いかけていたようで、追いかけてくれたのが救いでした。他のカメたちもしばらくすると追いかけてはじめましたが、経験不足からなかなか捕まえられません。それでも、普段はじっとしているカミツキガメが俊敏に泳いで魚を追いかけている姿には感動しました！



<危険なポッキーゲーム>



<おいかけて・・・いるかな？>

カワウソ！

カワウソは言わずと知れた名ハンターです！これまでもドジョウをあげたことがありましたが、今回は量が大量なのとガラス水槽を使っているのがポイントです！



手始めに、プラスチックの容器に少しだけドジョウを入れてみたところ、すぐに反応して捕まえてくれました！テンションがあがったカワウソたちは食べるよりも、捕まえては逃がし、捕まえては逃がし、と遊びだしてしまい、なかなか本番の水槽に行ってくれないという一幕もありました。

最初は水槽を警戒していた2頭も最後は中に入ってドジョウを捕まえる姿を見せてくれました！



<中に入って>



<つかまえた>

ウミウ！

最後はウミウです。日立市の鳥に指定されており、日本の動物園では現在のかみね動物園でのみ飼育されています。このウミウを使った伝統的な漁が鵜飼いです。ウに紐をつけて船や川岸から鵜匠の指示でウミウに魚を捕まえさせます。ウミウは4本の指の水かきをつけて巧みに泳ぐことができます。ただ、ドジョウをあげたことがなかったので、食べてくれるかだけが心配でした。



<ドジョウ投入！>



<泳ぐ二羽>

心配をよそに、ウミウは自慢の泳力を惜しみなく発揮し、魚を見事に捕まえていきました。
それはもう圧巻という他ありません。

私も含め見ていた全員が釘付けとなりました！写真が微妙なものしかなくてお伝えできない
のが悔しい・・・。

同じ魚を捕る動物でも、種類によって反応や捕まえ方が様々で見ているととても面白い願い事
となりました。

動物達も、普段は食べられないエサを目の前に活発に活動していたので、良い刺激になった
ことだと思います。

お魚踊り食い！これにて叶いました！

長くなってしまったので、残りの2つの願いは後日別のブログにて御紹介しますのでお楽し
みに！

2019年8月4日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

令和元年

[令和元年12月](#)

[令和元年11月](#)

[令和元年10月](#)

[令和元年9月](#)